

AMUSEMENT SQUARE stage

それにしても、最近の給食に關する騒動は困ったものである。

ナイフ事件にしても、毒物混入事件にしても、異物混入にしても、よくもまあこんなに全国同時多発的に発生するものだと驚かされる。

マスメディアが悪い訳ではないが、情報網が発達する前は、この様な現象は起こらなかったであろうに、やはり文明、文化が発達、変化していくと、様々な膿が噴出してくるものなのであろうか。

給食への針等混入問題にしても、小学校では、家庭科道具を家に持ち帰らなければ、皆の信頼関係が保たれにくいというのは、今のご時世では仕方がないと思いがらも、どこか少し寂しい気がするの、私だけであろうか。

しかしながら、自身の身の保全の仕方については、意識改革が必要なのも事実であろう。

● 演劇に対する考え方も、スタイルも人様々である。それは当然の事であるし、だからこそ面白いのであるが、演劇の世界に限らず、違ふものは全く認めないという人も多い。

全く認めないだけならまだしも、正当な批評能力も持ち合わせていないのに、もつともらしい批評を加え、良くない噂を流し、自分の考えを人に押しつける。

本人はそれで非常に満足かも知れないが、的外れのひとりよがり、は勘弁してほしい。モノをツクリ、ヒョウゲンするという行為の中

で、もつと拘わりのない、もつとフットワークの軽い、もつと開かれた環境の中での「みんな違ふからこそ面白い」という在り方を、今一度考えてほしい。

● どちらにしろ、芝居が好きならばやればよいであろうが、自分勝手な思い込みだけで、人に迷惑はかけてほしくないものである。

そんな中、先日、青森のスペース21で行われた、劇団デンジャラスの公演を観た。

短篇のギャグ的芝居の連続であり、20を超える作品数であったのだろうか。

● 即物的に観れば、お笑いを追求した作品づくりの様に思えるが、若い人達でしか持ち得ない感性というか、鋭い切り口があり、久々に若いパワーに出会えた様な気がした。

● 集団が集団として守りに入らず萎縮せず、このまま、伸びていくことを期待したい。

また、今年の五月十五日(土)には、五所川原「オルテンシア」で、また、六月五日(土)には、青森市民文化ホールで、青森の劇団雪姫(貴田千代世主宰)の公演が行われる。清水邦夫作「あらかじめ失われ

た恋人たちよ! 劇篇」である。

● 青森市を中心に活動し、数年前から市外でも精力的に公演を重ねている劇団であり、スペースベンでも何度か公演して頂いているが、今回は自劇団員だけではなく、他からも役者を起用して作品づくりに進めている。

● 八戸からは、中島美華さんと私田中が参加する予定である。青森市制百周年の野外劇にも参加した中島さんが、雪姫の中でどんな表現をみせるのか、とても楽しみである。更に、十二月には、八戸の劇団「イージーシアター我楽多屋」の主宰である、長尾広海脚本によるオリジナル作品の上演も予定しているようであり、今後の展開が楽しみな劇団である。

● 毎週金曜日の夜に開催しているFANSも、五年を経過し、今年十一月で三〇〇回を数える。

● まだ半年ほど先の話であるが、今から準備を進め、ロングランの公演をしてみようかとも考えているところである。

● そこでFANSでは、芝居の経験の有無に関わらず、意欲のある方、刺激を求めているあなたをお待ちしております。

● お気軽に「ご連絡下さい」。

演劇空間スペースベン

違ふからこそ面白い

〈文/スペースベン代表・田中勉〉

4月のFriday Amusement Negative Shop

FANSの番組につきましては、デリー東北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

※全て午後7時30分～、料金500円

- 2日(金) 269回 「未定」
- 9日(金) 270回 「未定」
- 16日(金) 271回 「未定」
- 23日(金) 272回 「未定」

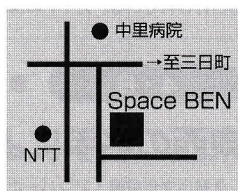
※FANSでは、公演がない場合も、スペースは開放しております。芝居等に関する話し合い、相談の場としてご利用下さい。

■30日(金) 273回

ひま人シリーズ

- 構成/田中勉 ●出演/田中勉

FANSでは、役者、スタッフ、その他何でも、何かを表現してみたい人を募集しています。ご連絡なく、ご連絡下さい。



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。(近くに西町書店駐車場有り)

問 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎&FAX 43-9876

information

芝居仲間クレイジージャップ・ビデオ上映会

2月26～28日に、N.Y.のOFF OFF BROADWAYで『THE LAST MEMORIES OF SAMURAI RYOMA ～龍馬昇天』の公演を終えたばかりの、クレイジー・ジャップ木村勝一氏がビデオ上映会を行う。内容はもちろんN.Y.公演。木村勝一氏と、本誌「view of life」の連載でもお馴染みの三浦哲郎氏のハードトークあり、大門賢二氏による華麗な殺陣の実践アリの予定で行う。

- 場所/Rec.5Fパラボラ
- 日時/4月25日(日)～27日(火)
19:00～21:00 (予定)
- 料金/1500円(予定)
- 問/0178-52-2503
090-8783-8737
(木村勝一まで)



▲N.Y.公演用のポスターより